



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

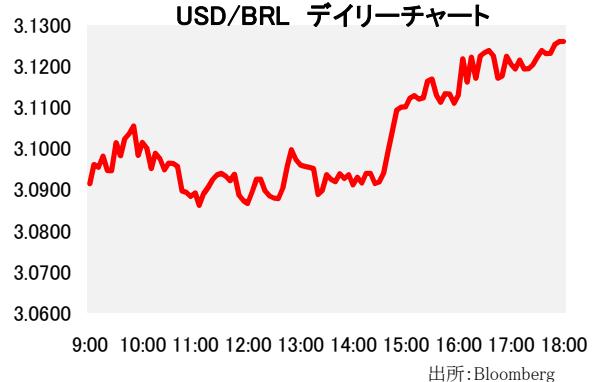
1. マーケット・レート

			3月30日	3月31日	4月1日	4月2日	4月6日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2290	3.1960	3.1640	3.1220	3.1260	+0.0040
	BRL/JPY	Spot	37.21	37.58	37.81	38.32	38.26	-0.06
	EUR/USD	Spot	1.0828	1.0736	1.0764	1.0882	1.0925	+0.0043
	USD/JPY	Spot	120.16	120.10	119.71	119.74	119.47	-0.27
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.475	13.380	13.150	13.295	13.272	-0.023
	Future	1Year(p.a.)	13.635	13.519	13.380	13.375	13.340	-0.035
	On-shore USD	6MTH(p.a.)	2.169	2.021	1.819	1.900	1.878	-0.022
株式	Bovespa指数		51,243	51,150	52,322	53,123	53,737	614
CDS	CDS Brazil 5y		285.24	282.70	272.69	265.40	256.53	-8.87
商品	CRB指数		214.254	211.860	216.121	216.088	220.021	+3.93

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

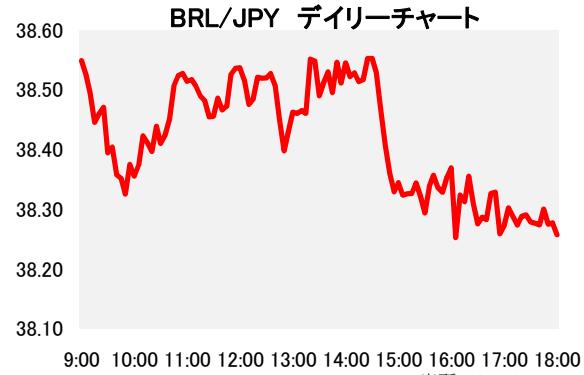
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
HSBC ブラジル コンポジットPMI	--	47.0	51.3
HSBC ブラジル サービス業PMI	--	47.9	52.3
(米)マーキット米国コンポジットPMI	--	59.2	58.5
(米)マーキット米国サービス業PMI	58.6	59.2	58.6
(米)ISM非製造業景況指数	56.5	56.5	56.9



3. 要人コメント

(米)ダドリーNY連銀総裁	初回利上げ後の金融引き締めの軌道は低いものになりそうである。
---------------	--------------------------------



4. トピックス

- 先週金曜日のマーケット休場中に発表された米3月雇用統計が非常に弱かったことを受けて、本日のドルレアルはドル安方向に大きく窓を開けて3.0880で寄り付いた。オープン直後は短期筋のレアル売りが優勢で、レアルは軟調推移した。しかし、原油の急反発でボベスピ指が堅調に推移したことを受けレアルは反発し、高値となる3.0860をつけた。暫くは同水準で揉み合うも、イースター休暇で市場参加者が少ない中、本日引けにかけては先週引けからの窓を埋めに行く動きでドルの買い戻しが優勢となり、レアルは安値となる3.1270まで反落した。結局、先週引け値近辺の3.1260でクローズした。
- 先週金曜日に発表された3月の米雇用統計が予想を大幅に下回ったことを受けて、市場ではFRBが利上げ時期を先送りするとの観測が強まっている。非農業部門雇用者数は245千人増の予想に対して129千人の増加にとどまり、前月分も下方修正された。
- サウジアラビアがアジア向けの原油価格を引き上げたことを受けて原油価格は反発した。WTI先物の直近限月ものは約1週間ぶりに1バレル辺り52ドル台をつけた。堅調な原油価格に加え、米国の利上げペースが想定よりも遅くなるという思惑も相俟って、ボベスピ指が堅調推移し、一時は昨年12月以来の水準となる54000台を回復した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の領布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関する生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。